

(職員記入欄)

受付番号 No: \_\_\_\_\_

記入例

令和●●年●●月●●日

**事前申込書** 令和4年度鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業

- 代理申請の場合は、裏面の委任状に必ず記載してください。
- 事前申込書は、1住宅につき1枚限りです。2枚以上申込された場合は無効とします。
- 事前申込書に記載してある申請者は変更できません。
- 住宅の建築年月・所有者を確認できる書類（登記事項証明書、固定資産家屋証明書又は固定資産税台帳記載事項証明書等）の写しを添付してください。

※全ての項目を記入し、太枠内は本人が直筆で記入すること。

申請者の氏名等	※以下の記載事項は事実と相違ありません。					
	フリガナ (氏名) 鹿屋 一郎		(連絡先) 090-△△△-□□□□			
(住所) 〒△△△-□□□□ 鹿屋市共栄町●●●						
改修する住宅の所有者等	フリガナ (所有者の氏名) 鹿屋 一郎					
	(申請者との続柄) 本人					
改修する住宅の所在等	(所在地) 鹿屋市共栄町●●●					
	(建築年月) 昭和56年7月 ( <input checked="" type="checkbox"/> 補助区分①・S56.6以降 <input type="checkbox"/> 補助区分②・S56.5以前 )					
補助の種類	<input type="checkbox"/> 耐震診断補助 <input type="checkbox"/> 耐震改修工事補助 <input checked="" type="checkbox"/> 改修応援補助					
世帯区分	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 高齢者等世帯 <input type="checkbox"/> 定住世帯 <input type="checkbox"/> 一般世帯					
世帯員 (申請者を含む)	氏名(世帯主に○)	生年月日(年齢)	申請者との続柄	備考 (障害者等級・学校名等)		
	鹿屋 一郎	○ S●,1,1 75歳	本人			
	鹿屋 花子	S●,1,1 74歳	妻	身障1級		
	鹿屋 一太郎	○ S□,1,1 35歳	長男	世帯員が6名以上の場合は適宜、行追加・分割		
	鹿屋 ○子	S□,1,1 32歳	子の妻			
鹿屋 ○男	H△,1,1 7歳	孫	◎◎小学校2年			
施工業者 ※耐震診断の場合 耐震診断業者	(名称) 株●●建設		(連絡先) 0994-△△-□□□□			
	(所在地) 〒△△△-□□□□ 鹿屋市北田町●●●					
(代表者) ●● ■■		(担当者) ●● ■■				
工期	令和●●年 ●月 ●日 ~ 令和●●年 ●月 ●日					
工事内容	外壁塗装、内部改修(壁・天井クロス張替え、フローア一張替え)					
総工事費	1,481,297 円(税込) ※耐震診断の場合は「耐震診断経費」					
確認項目 (該当項目をチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 住民登録あり <input checked="" type="checkbox"/> 市税の滞納なし <input checked="" type="checkbox"/> 申請者が申請住宅に居住 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以下の子とも同居 <input checked="" type="checkbox"/> 65歳以上の高齢者又は障害者と同居 <input checked="" type="checkbox"/> 三世帯同居世帯(子育て・定住世帯&直系親族で同居) <input checked="" type="checkbox"/> 今回が初めての申請 <input type="checkbox"/> 他住宅関連事業の利用( ) <input checked="" type="checkbox"/> 期限までに補助申請					

記入例

委任状

私は、鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業の事前申込について、下記の者に委任します。

記

令和●●年●●月●●日

委任者 ※この太枠内は本人が直筆で記入すること。

住 所 鹿屋市共栄町●●●

氏 名 鹿屋 一郎

受任者

住 所 鹿屋市北田町●●●

氏 名(会社名) (株)●●建設

担当者 ●● ■■ (携帯番号 080-△△△-□□□□ )

# 改修応援・記入例

未記入(受理時に  
窓口で記入)

令和●●年●●月●●日

第1号様式(第7条関係)

鹿屋市長 中西 茂 様

申請者 住所 鹿屋市共栄町●●●  
氏名 鹿屋 一郎

住宅の建築年月に応じて、各欄  
に記入

## 鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援補助金交付申請書

令和4年度における鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援補助金の交付を受けたいので、鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援補助金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて申請します。

種 類	基 準	昭和56年6月1日以後に 建築(着工)された住宅	昭和56年5月31日以前に 建築(着工)された住宅※
① 改修応援補助金 (該当世帯に○)	子育て・高齢者等・定住・一般世帯	200,000 円	円
② 三世帯同居世帯加算金 (子育て世帯で三世帯同居)		100,000 円	円
交 付 申 請 額 (①+②)		300,000 円	円

千円未満は切り捨て

添 付 書 類	(1) 改修工事事業計画書及び同意書(第2号様式) (2) 建築物の所有者及び建築時期が記された官公署の発行した書類の写し(登記事項証明書、固定資産家屋証明書又は固定資産税台帳記載事項証明書) (3) 改修工事見積書(第3号様式)又はこれに代わる見積書 (4) 改修工事を行う住宅の付近見取り図 (5) 改修工事の内容が確認できる図面 (6) 改修工事を行う部分の施工前の状態が確認できる写真 (7) 市税に滞納がない証明書
特 記 事 項 ( 該 当 す る 場 合 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯又は定住世帯で三世帯同居世帯の場合 親と子と孫の続柄及び住所が分かる書類(戸籍謄本等)</li> <li>申請者と住宅所有者が異なる場合(2親等以内) 住宅所有者との続柄の分かる書類(戸籍謄本等)</li> <li>その他 委任状、障害者手帳等の写し、確約書など</li> </ul>

※耐震診断を受けた住宅、又は耐震改修工事を行う住宅に限る。

## 改修応援・記入例

第2号様式(第7条関係)

### 改修工事事業計画書及び同意書

申請者の氏名等	(氏名) <b>鹿屋 一郎</b> (連絡先) <b>090-△△△-□□□□</b>				
	(住所) <b>鹿屋市共栄町●●●</b>				
改修する住宅の所有者等	(所有者の氏名) <b>鹿屋 一郎</b>				
	(申請者との続柄) <b>本人</b>				
改修する住宅の所在等	(所在地) <b>鹿屋市共栄町●●●</b> (建築年月) <b>昭和56年 7月</b>				
住宅の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 併用住宅 <input type="checkbox"/> 集合住宅				
世帯員 (申請者を含む)	氏名(世帯主に○)	生年月日(年齢)	申請者との続柄	備考(障害者等級・学校名等)	
	<b>鹿屋 一郎</b>	○ S●,1,1 75歳	<b>本人</b>		
	<b>鹿屋 花子</b>	S●,1,1 74歳	<b>妻</b>	<b>身障1級</b>	
	<b>鹿屋 一太郎</b>	○ S□,1,1 35歳	<b>長男</b>	世帯員が6名以上の場合は適宜、行追加・分割して構いません。	
	<b>鹿屋 ○子</b>	S□,1,1 32歳	<b>子の妻</b>		
	<b>鹿屋 ○男</b>	H△,1,1 7歳	<b>孫</b>	<b>◎◎小学校2年</b>	
施 工 業 者	(名称) <b>(株)●●建設</b> (連絡先) <b>0994-△△-□□□□</b>				
	(所在地又は住所) <b>鹿屋市北田町●●●</b>				
	(代表者) <b>●● ■■</b>				
	(担当者) <b>●● ■■</b> (連絡先) <b>090-△△△-□□□□</b>				
工 期	令和●●年 ●月 ●日 ~ 令和●●年 ●月 ●日				
工 事 内 容	<b>外壁塗装、給湯機設置</b>				
総 工 事 費	<b>1,485,000</b> 円(税込)				
補 助 対 象 経 費	<b>1,393,614</b> 円(税込)				
他の補助事業の適用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (補助事業名 )				
確 認 項 目 (該当項目をチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 住民登録あり <input checked="" type="checkbox"/> 市税の滞納なし <input checked="" type="checkbox"/> 申請者が申請住宅に居住 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以下の子どもと同居 <input checked="" type="checkbox"/> 65歳以上の高齢者又は障害者と同居 <input checked="" type="checkbox"/> 三世帯同居世帯(子育て・定住世帯に限る。) <input checked="" type="checkbox"/> 今回が初めての申請				
<p>上記の記載事項は、事実と相違ありません。</p> <p>なお、住民基本台帳、市税の納付状況、住宅の所有者など、申請に係る情報について、鹿屋市が職権で確認することに同意します。</p> <p>令和●●年●●月●●日</p> <p style="text-align: right;">申請者 氏名 <b>鹿屋 一郎</b></p>					

※記載内容に虚偽やその他不正行為があった場合、交付決定の取消や補助金の返還を命ずることがあります。

# 改修応援・記入例

申請書の提出日以前の日付を記入

第3号様式(第7条関係)

## 改修工事見積書

令和●●年●●月●●日

申請者 **鹿屋 一郎** 様

請負業者 所在地又は住所 **鹿屋市北田町●●●●**

内訳、数量、単価を詳しく記入  
補助対象経費と対象外経費

業者名 **株●●建設**  
電話番号 **0994-△△-□□□□**

工事内容	数量	単位	単価	総工事費	補助対象経費	関連工事・備考
足場組立	200	㎡	900	180,000	180,000	
仮設階段	1	ヶ所	20,000	20,000	20,000	
高圧洗浄	150	㎡	300	45,000	45,000	
一部下地補修	1	式		20,000	20,000	
下地シーラー	150	㎡	300	45,000	45,000	
弾性塗装	150	㎡	2,000	300,000	300,000	
門塀塗替え	20.0	㎡	2,000	40,000	0	対象外
給湯機(【メカ・型番】)	1.0	基		500,000	0	500,000
給湯機設置工事(電源)	1.0	式		50,000	0	50,000
給湯機設置工事(配管)	1.0	式		50,000	0	50,000
旧給湯機撤去工事	1.0	式		50,000	0	50,000
工事諸経費	1.0	式		50,000	23,461	25,000
						共通経費(工事諸経費等)は、 対象工事・関連工事費分を按分算出 (例) 補助対象 50000×610000/1300000 関連工事 50000×650000/1300000
【総計】				1,350,000	633,461	675,000
【補助対象経費 小計】				※BはA上限	A 633,461	B 633,461
【補助対象経費 合計】					1,266,922	①=A+B
【消費税】				135,000	126,692	②
【合計】				1,485,000	1,393,614	③
①補助対象経費	1,266,922	②消費税	126,692	③合計(①+②)	¥1,393,614	

注 内訳の明細を詳しく記載すること。

# 改修応援・記入例

申請書の提出日以前の日付を記入

第3号様式(第7条関係)

改修工事見積書

令和●●年●●月●●日

申請者 **鹿屋 一郎** 様

請負業者 所在地又は住所 **鹿屋市北田町●●●●**

業者名 **株●●建設**  
電話番号 **0994-△△-□□□□**

工事内容	数量	単位	単価	総工事費	補助対象経費	関連工事・備考
<b>外壁塗装（詳細別紙）</b>						
<b>うち対象工事</b>				<b>610,000</b>	<b>610,000</b>	
<b>うち対象外工事</b>				<b>40,000</b>	<b>0</b>	<b>対象外</b>
<b>給湯機設置（詳細別紙）</b>				<b>650,000</b>	<b>0</b>	<b>650,000</b>
<b>工事諸経費</b>				<b>50,000</b>	<b>23,461</b>	<b>25,000</b>
<p><b>【施工業者発行の見積書を添付する場合】</b> 対象工事・対象外工事・関連工事が混在する場合で、別に業者発行の見積書を添付する場合は、本様式は記載例のとおり内訳（詳細）を省略可。 ただし、記載例のとおり対象工事・対象外工事・関連工事別の記載は必要。  ※全額が対象工事費となる場合は、本様式に代えて施工業者発行の見積書の</p>						
						<b>【関連工事計】</b>
<b>【総計】</b>				<b>1,350,000</b>	<b>633,461</b>	<b>675,000</b>
<b>【関連工事分 小計】</b>				<b>※BはA上限</b>	<b>A 633,461</b>	<b>B 633,461</b>
<b>【補助対象経費 合計】</b>					<b>1,266,922</b>	<b>①=A+B</b>
<b>【消費税】</b>				<b>135,000</b>	<b>126,692</b>	<b>②</b>
<b>【合計】</b>				<b>1,485,000</b>	<b>1,393,614</b>	<b>③</b>
①補助対象経費	<b>1,266,922</b>	②消費税	<b>126,692</b>	③合計(①+②)	<b>¥1,393,614</b>	

注 内訳の明細を詳しく記載すること。

## 改修応援・記入例

(代理者に手続委任の場合)  
任意様式

### 委 任 状

私は、鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業（耐震診断補助金・耐震改修工事補助金・改修応援補助金）の交付申請、実績報告及びそれらに付随する一切の行為について、下記の者に委任します。

記

令和●●年●●月●●日

委任者

※委任者の方が自署捺印してください。

氏名 鹿屋 一郎

住所 鹿屋市共栄町●●●

受任者

氏名（会社名・社員名）

(株)●●建設 ●● ■■ 担当者 ●● ■■ )

住所 鹿屋市北田町●●●

電話番号 0994-△△-□□□□

担当者携帯番号 090-△△△-□□□□

## 改修応援・記入例

任意様式

誓約・同意書（業者用）

鹿屋市長 中西 茂 様

鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業（耐震診断補助金・耐震改修工事補助金・改修応援補助金）に係る施工業者としての要件を満たしていることを誓約します。

なお、その要件について、市が職権で調査及び確認することに同意します。

―要件―

- ・市内に本社、支社、営業所等を有する法人又は住所を有する個人業者であること。
- ・市税の滞納がないこと。

令和●●年●●月●●日

業者名	株式会社●●建設
住所	鹿屋市北田町●●●
代表者名	●● ■■
連絡先	0994-△△-□□□□



# 改修応援・記入例

※未記入(受理時に窓口で記入)  
完了日から2週間以内

令和●●年●●月●●日

第5号様式(第9条関係)

鹿屋市長 中西 茂 様

市が送付した補助金等交付決定通知書の  
右上に記載されている日付・番号を記入

申請者 住所 鹿屋市共栄町●●●  
氏名 鹿屋 一郎

## 鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援補助金事業実績報告書

令和4年度における鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援補助事業を実施したので、鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援補助金交付要綱第9条の規定により、関係書類を添えて実績を報告します。

決定年月日	令和●●年●●月●●日	決定番号	鹿建支●●号
種類	基準 昭和56年6月1日以後に 建築(着工)された住宅	基準 昭和56年5月31日以前に 建築(着工)された住宅	
① 改修応援補助金 (該当世帯に○)	子育て・高齢者等・定住・一般世帯 200,000 円	子育て・高齢者等・定住・一般世帯	円
② 三世帯同居世帯加算金 (子育て世帯で三世帯同居)	100,000 円		円
交付予定額 (①+②)	300,000 円		円
補助事業の完了年月日	令和●●年●●月●●日		
添付書類	(1) 改修工事に係る契約書及び内訳書又はこれに代わる見積書並びに領収書の写し (2) 改修工事を行った部分の施工中及び施工後の写真		

領収書の発行日

市が送付した補助金等交付決定通知書  
に記載されている交付予定額を記入

# 改修応援・記入例

第6号様式（第10条関係）

鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援補助金

金 \_\_\_\_\_ 円

ただし 令和 年 月 日付け鹿建支第 号の補助金等交付確定通知書に基づく  
令和4年度鹿屋市支え愛住宅改修応援補助金

上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

日付より上は、未記入  
(受理時窓口で記入)

請求書のみ押印が必要

申請人 住所 鹿屋市共栄町●●●

氏名 鹿屋 一郎

印

振込先を記入  
通帳と見比べながら正確に記入

鹿屋市長 中西 茂 様

(振込先)	
金融機関名	●●銀行・信金・信組・農協・漁協・労金
支店名	●●本店・支店・支所・出張所
口座区分	① 普通 2 当座 3 その他 ( )
口座番号	123456
口座名義人(フリガナ)	カノヤ イチロウ
備考	該当する項目に○印を付けてください。

診断・記入例

未記入(受理時に窓口で記入)

第1号様式 (第7条関係)

令和●●年●●月●●日

鹿屋市長 **中西 茂** 様

申請者  
住所 **鹿屋市共栄町●●●**  
氏名 **鹿屋 一郎**  
(団体の場合は、団体名及び代表者名)

鹿屋市既存住宅耐震診断補助金交付申請書

鹿屋市既存住宅耐震診断補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり申請します。

補助金の名称	鹿屋市既存住宅耐震診断補助事業
補助事業の 目的及び内容	目的 <u>既存住宅の耐震診断</u>
	所在地 <u>鹿屋市<b>共栄町●●●</b></u>
	階数 <u><b>2階建</b></u>
	構造 <u><b>木造</b></u>
	延べ面積 <u><b>115.0</b> m<sup>2</sup> (住宅部分 <b>115.0</b> m<sup>2</sup>)</u>
	建築年月 <u><b>昭和50年 5月</b> (着工)</u>
	耐震診断技術者名 <u>●● ▲▲</u>
建築士事務所名 <u>●●<b>建築設計事務所</b></u>	
交付申請額	<b>100,000円</b>
添付書類	<input type="checkbox"/> 耐震診断実施計画書 (別記第2号様式) <input type="checkbox"/> 耐震診断費用の見積書の写し <input type="checkbox"/> 建築物の所有者及び建築時期が記された官公署の発行した書類の写し (登記事項証明書、固定資産家屋証明書又は固定資産税台帳記載事項証明書) <input type="checkbox"/> 市税に滞納がない証明書 <input type="checkbox"/> 借家の場合は、耐震診断借主(貸主)同意依頼書(同意書)(別記第3号様式) <input type="checkbox"/> 付近見取図(対象住宅の位置が特定できる程度のもの) <input type="checkbox"/> 配置図(対象住宅の位置が特定できる程度のもの) <input type="checkbox"/> 平面図(延べ面積の算出が可能である程度のもの) <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類

千円未満は切り捨て



## 診断・記入例

(代理者に手続委任の場合)  
任意様式

### 委任状

私は、鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業（耐震診断補助金・耐震改修工事補助金・改修応援補助金）の交付申請、実績報告及びそれらに付随する一切の行為について、下記の者に委任します。

### 記

令和●●年●●月●●日

#### 委任者

※委任者の方が自署捺印してください。

氏名 鹿屋 一郎  
住所 鹿屋市共栄町●●●

#### 受任者

氏名（会社名・社員名）  
●●建築設計事務所 担当者（ ●● ■■ ）  
住所 鹿屋市新栄町●●●  
電話番号 0994-△△-□□□□  
担当者携帯番号 090-△△△-□□□□

## 診断・記入例

任意様式

誓約・同意書（業者用）

鹿屋市長 中西 茂 様

鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業（耐震診断補助金・耐震改修工事補助金・改修応援補助金）に係る施工業者としての要件を満たしていることを誓約します。

なお、その要件について、市が職権で調査及び確認することに同意します。

— 要 件 —

- ・市内に本社、支社、営業所等を有する法人又は住所を有する個人業者であること。
- ・市税の滞納がないこと。

令和●●年●●月●●日

業者名 ●●建築設計事務所  
住所 鹿屋市新栄町●●●●  
代表者名 ●● ▲▲  
連絡先 0994-△△-□□□□

## 診断・記入例

※未記入(受理時に窓口で記入)  
完了日から2週間以内

第5号様式 (第9条関係)

令和●●年●●月●●日

鹿屋市長 中西 茂 様

補助事業者

住所 鹿屋市共栄町●●●

氏名 鹿屋 一郎

(団体の場合は、団体名及び代表者名)

市が送付した補助金等交付決定通知書の  
右上に記載されている日付・番号を記入

鹿屋市既存住宅耐震診断補助金実績報告書

鹿屋市既存住宅耐震診断補助金交付要綱第9条の規定により、次のとおり報告します。

交 付 決 定 年 月 日	令和●●年●●月●●日	決定番号	鹿建支第●●●号
補 助 金 の 名 称	鹿屋市既存住宅耐震診断補助事業		
補 助 事 業 の 着 手 年 月 日	令和●●年●●月●●日		
補 助 事 業 の 完 了 年 月 日	令和●●年●●月●●日		
交 付 予 定 額	100,000円		
関 係 添 付 書 類	<input type="checkbox"/> 耐震診断結果報告書 (第6号様式) <input type="checkbox"/> 建築士事務所が発行した領収書の写し <input type="checkbox"/> 配置図及び平面図 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類		

市が送付した補助金等交付決定通知書  
に記載されている交付予定額を記入

# 診断・記入例

第6号様式（第9条関係）

令和●●年●●月●●日

## 耐震診断結果報告書

鹿屋市長 **中西 茂** 様  
依頼主 **鹿屋 一郎** 様

建築士事務所 所在地 **鹿屋市新栄町●●●**  
事務所名 **●●建築設計事務所**  
代表者名 **●● ▲▲**  
電話番号 **0994-△△-□□□□**

下記に所在する既存住宅の耐震診断を行いましたので、別紙のとおり結果を報告します。

耐震診断技術者氏名 **●● ▲▲**

### 記

- 所在地 **鹿屋市共栄町●●●**
- 診断した既存住宅の概要  
用途 **専用住宅**  
延べ面積 **115.0** m<sup>2</sup>（住宅部分 **115.0** m<sup>2</sup>）  
階数 **2階建**  
構造 **木造**  
建築年月（着工） **昭和50年 5月**（着工）
- 既存住宅の所有者名 **鹿屋 一郎**
- 耐震診断の方法・結果 **倒壊する危険性がある**  
木造：**一般**・精密 上部構造評点（I<sub>w</sub>）=**0.76**  
その他の構造：**第1次**・第2次・第3次 耐震構造指標（I<sub>s</sub>）=



# 診断・記入例

第8号様式（第11条関係）

## 鹿屋市既存住宅耐震診断補助金交付請求書

金 \_\_\_\_\_ 円

ただし 令和 年 月 日付け鹿建支第 号の補助金等交付確定通知書に基づく  
鹿屋市既存住宅耐震診断補助金

上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

日付より上は、未記入  
(受理時窓口で記入)

請求書のみ押印が必要

申請人 住所 鹿屋市共栄町●●●

氏名 鹿屋 一郎

印

振込先を記入  
通帳と見比べながら正確に記入

鹿屋市長 中西 茂 様

(振込先)	
金融機関名	●●銀行・信金・信組・農協・漁協・労金
支店名	●●本店・支店・支所・出張所
口座区分	② 普通 2 当座 3 その他 ( )
口座番号	123456
口座名義人(フリガナ)	カノヤ イチロウ
備考	該当する項目に○印を付けてください。

# 耐震改修・記入例

※未記入(受理時に窓口で記入)

第1号様式 (第8条関係)

令和●●年●●月●●日

鹿屋市長 様

申請者 住所 **鹿屋市共栄町●●●**

氏名 **鹿屋 一郎**

(団体の場合は、団体名及び代表者名)

## 鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助金交付申請書

鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり申請します。

補助金の名称	鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助事業	
補助事業の目的及び内容	目的	既存住宅の耐震改修工事
	所在地	鹿屋市 <b>共栄町●●●</b>
	階数	<b>2階建</b>
	構造	<b>木造</b>
	延べ面積	<b>115.0</b> m <sup>2</sup> (住宅部分 <b>115.0</b> m <sup>2</sup> )
	建築年月	昭和 <b>50</b> 年 <b>5</b> 月 (着工)
	耐震診断技術者名	●● ▲▲
	建築士事務所名	●● <b>建築設計事務所</b>
工事施工者名	(株)●● <b>建設</b>	
交付申請額	<b>838,000円</b>	
添付書類	<p>(1) 要綱第8条第1号に係る申請</p> <p>ア 耐震改修工事実施計画書 (別記第2号様式)</p> <p>イ 耐震改修工事に係る見積書の写し (実施設計及び工事監理費を含む。)</p> <p>ウ 耐震改修工事計画図面</p> <p>エ 市税に滞納がない証明書</p> <p>オ 借家の場合は、耐震改修工事借主 (貸主) 同意依頼書 (同意書) (別記第4号様式)</p> <p>カ その他市長が必要と認める書類</p> <p>(2) 要綱第8条第2号に係る申請</p> <p>ア 前号アからカまでに掲げる書類</p> <p>イ 付近見取図、配置図及び平面図</p> <p>ウ 建築物の所有者及び建築時期が記された官公署の発行した書類の写し (登記事項証明書、固定資産家屋証明書又は固定資産税台帳記載事項証明書)</p> <p>エ 耐震診断結果報告書</p>	

千円未満は切り捨て

## 耐震改修・記入例

第2号様式（第8条関係）

令和●●年●●月●●日

### 耐震改修工事実施計画書

1 所在地 鹿屋市共栄町●●●

2 診断する既存住宅の概要

用途 専用住宅

(併用部分がある場合はその具体的用途： )

延べ面積 115.0 m<sup>2</sup> (住宅部分 115.0 m<sup>2</sup>)

階数 2階建

構造 木造

建築年月 昭和50年 5月 (着工)

3 耐震改修工事の種類・概要

①耐震改修工事

②簡易耐震改修工事 (ア～ウいずれかに○)

ア 部分耐震化

イ 耐震シェルター (製品名： )

ウ 防災ベッド (製品名： )

4 診断する建築士事務所の概要 (3の②イ及びウは不要)

所在地 鹿屋市新栄町●●●

事務所名 ●●建築設計事務所

事務所登録 ( 一級 ) 建築士事務所 ( 鹿児島県 ) 知事登録第 123 号

代表者名 ●● ▲▲

電話番号 0994-△△-□□□□

耐震診断技術者名 ●● ▲▲

講習会名 (受講番号) 鹿児島県木造住宅耐震診断技術者講習会 ( 24 - ●● )

5 耐震改修工事を行う施工者の概要

会社名 (株)●●建設  
 代表者名 ●● ■■  
 所在地 鹿屋市北田町●●●  
 電話番号 0994-△△-□□□□

6 補助対象経費

耐震改修工事費	1,800,000円 (消費税込)
耐震設計費	100,000円 (消費税込)
工事監理費	160,000円 (消費税込)
合計・・・①	2,060,000円 (消費税込)

7 耐震改修工事の予定期間

令和●●年●●月●●日 から 令和●●年●●月●●日 (予定)

8 耐震診断の方法 (該当するものを○で囲む。)

木造 : 一般 ・ 精密  
 その他の構造 : 第1次 ・ 第2次 ・ 第3次

9 耐震診断結果 (上部構造評点又はIs値)

	改修前				改修後 (3の②イ及びウは不要)			
	X	点	Y	点	X	点	Y	点
1階	X	0.25	Y	0.50	X	1.08	Y	1.05
2階	X	1.15	Y	1.05	X	1.15	Y	1.05
3階	X	点	Y	点	X	点	Y	点

10 添付書類

- (1) 耐震改修工事を実施しようとする既存住宅の外観写真  
(なるべく全景が入るように写したもの2面以上)
- (2) 耐震診断技術者であることを証明する書類 (3の②イ及びウは不要)  
(鹿児島県木造住宅耐震技術講習会、鹿児島県既存建築物耐震診断講習会などの受講修了証等の写し)
- (3) 補強計画後の診断表 (3の②イ及びウは不要)

## 耐震改修・記入例

(代理者に手続委任の場合)  
任意様式

### 委 任 状

私は、鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業（耐震診断補助金・耐震改修工事補助金・改修応援補助金）の交付申請、実績報告及びそれらに付随する一切の行為について、下記の者に委任します。

### 記

令和●●年●●月●●日

#### 委任者

※委任者の方が自署捺印してください。

氏名 鹿屋 一郎  
住所 鹿屋市共栄町●●●

#### 受任者

氏名（会社名・社員名）

●●建築設計事務所 担当者（ ●● ■■ ）  
住所 鹿屋市新栄町●●●  
電話番号 0994-△△-□□□□  
担当者携帯番号 090-△△△-□□□□

## 耐震改修・記入例

任意様式

誓約・同意書（業者用）

鹿屋市長 中西 茂 様

鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業（耐震診断補助金・耐震改修工事補助金・改修応援補助金）に係る施工業者としての要件を満たしていることを誓約します。

なお、その要件について、市が職権で調査及び確認することに同意します。

― 要 件 ―

- ・市内に本社、支社、営業所等を有する法人又は住所を有する個人業者であること。
- ・市税の滞納がないこと。

令和●●年●●月●●日

業者名	株●●建設
住所	鹿屋市北田町●●●
代表者名	●● ■■
連絡先	0994-△△-□□□□

## 耐震改修・記入例

※未記入(受理時  
に窓口で記入)

第5号様式(第10条関係)

令和●●年●●月●●日

鹿屋市長 中西 茂 様

申請者

住 所 鹿屋市共栄町●●●

氏 名 鹿屋 一郎

電話番号 090-△△△-□□□□

### 鹿屋市既存住宅耐震改修工事中間検査申請書

鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助金交付要綱第10条の規定により、下記の既存住宅の中間検査を申請します。

記

1 所在地 鹿屋市新栄町●●●

2 耐震改修工事の種類

①耐震改修工事

②簡易耐震改修工事(ア～ウいずれかに○)

(ア 部分耐震化 イ 耐震シェルター ウ 防災ベッド)

3 中間検査の工程に達する日 令和●●年●●月●●日(予定)

4 添付書類

(1) 設計監理業務契約書の写し(2の②イ及びウは不要)

(2) 耐震改修工事請負契約書の写し

(3) 耐震改修図面

(4) その他市長が必要と認める書類

## 耐震改修・記入例

※未記入(受理時に窓口で記入)  
完了日から2週間以内

第7号様式(第11条関係)

令和●●年●●月●●日

### 鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助金実績報告書

鹿屋市長 中西 茂 様

補助事業者

住所 鹿屋市共栄町●●●

氏名 鹿屋 一郎

(団体の場合は、団体名及び代表者名)

市が送付した補助金等交付決定通知書の  
右上に記載されている日付・番号を記入

鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助金交付要綱第11条の規定により、次のとおり報告します。

交付決定年月日	令和●●年●●月●●日	決定番号	鹿建支第●●●号
補助金の名称 及び種類	鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> ①耐震改修工事 <input type="checkbox"/> ②簡易耐震改修工事(ア～ウいずれかに○) (ア 部分耐震化 イ 耐震シェルター ウ 防災ベッド)		
補助事業の着手年月日	令和●●年●●月●●日		
補助事業の完成年月日	令和●●年●●月●●日		
交付予定額	<b>838,000円</b>		
関係添付書類	<input type="checkbox"/> 鹿屋市既存住宅耐震改修工事監理報告書(別記第8号様式。 添付図書を含む。②のイ及びウを除く。) <input type="checkbox"/> 建築士事務所が発行した領収書の写し <input type="checkbox"/> 工事施工者が発行した領収書の写し <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類		

市が送付した補助金等交付決定通知書  
に記載されている交付予定額を記入



## 耐震改修・記入例

第8号様式（第11条関係）

令和●●年●●月●●日

補助事業の完成年月（領収書の発行日）以前の日付を記入

### 鹿屋市既存住宅耐震改修工事監理報告書

鹿屋市長 **中西 茂** 様  
依頼主 **鹿屋 一郎** 様

建築士事務所 所在地 **鹿屋市新栄町●●●**  
事務所名 **●●建築設計事務所**  
代表者名 **●● ▲▲**  
電話番号 **0994-△△-□□□□**

下記の既存住宅の耐震改修工事について、設計図書のとおり実施されていることを確認したので、報告いたします。

耐震診断技術者氏名 **●● ▲▲**

#### 記

- 所在地 鹿屋市**共栄町●●●**
- 耐震改修工事を行った既存住宅の概要  
用途：**専用住宅**  
(併用部分がある場合はその具体的用途： )  
延べ面積：**115.0** m<sup>2</sup> (住宅部分 **115.0** m<sup>2</sup>)  
階数：**2階建て**  
構造：**木造**  
建築年月：**昭和50年 5月** (着工)
- 耐震改修工事を行った施工者の概要  
会社名：**(株)●●建設**  
代表者名：**●● ■■**  
所在地：**鹿屋市北田町●●●**  
電話番号：**0994-△△-□□□□**

4 工事完了年月日 令和●●年●●月●●日

5 耐震診断の方法（該当するものを○で囲む。）

木 造 : 一般・精密

その他の構造 : 第1次・第2次・第3次

6 耐震診断結果（上部構造評点又はIs値）

	改 修 前				改 修 後			
1 階	X	0.25点	Y	0.50点	X	1.08点	Y	1.05点
2 階	X	1.15点	Y	1.05点	X	1.15点	Y	1.05点
3 階	X	点	Y	点	X	点	Y	点

7 添付書類

- (1) 耐震改修図面
- (2) 施工写真
- (3) 耐震改修工事中間検査結果通知書の写し

# 耐震改修・記入例

第10号様式（第13条関係）

## 鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助金交付請求書

金 \_\_\_\_\_ 円

ただし 令和 年 月 日付け鹿建支第 \_\_\_\_\_ 号の補助金等交付確定通知書に基づく  
鹿屋市既存住宅耐震改修工事補助金

上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

日付より上は、未記入  
(受理時窓口で記入)

請求書のみ押印が必要

申請人 住所 鹿屋市共栄町●●●

氏名 鹿屋 一郎



振込先を記入  
通帳と見比べながら正確に記入

鹿屋市長 中西 茂 様

(振込先)	
金融機関名	●●銀行・信金・信組・農協・漁協・労金
支店名	●●本店・支店・支所・出張所
口座区分	③ 普通 2 当座 3 その他 ( )
口座番号	123456
口座名義人(フリガナ)	カノヤ イチロウ
備考 該当する項目に○印を付けてください。	